



飛翔

No.91 東京陸協会報

2009(平成21)年8月17日発行

発行

(社)東京陸上競技協会
〒160-0021
新宿区歌舞伎町1-28-3
武井ビル4階
電話 03-3203-6123
FAX 03-5292-0196
HP <http://www.toriku.or.jp>

平成21年度第1回通常総会開催 〈平成20年度事業・決算報告承認さる〉

本年度第1回社団法人東京陸上競技協会通常総会は、平成21年6月20日午後2時より、東京都品川区大崎4-2-16 立正大学1151教室において開催されました。会員(登録代表者)数357名中、238名(内、委任134名)の出席をもって総会は成立し、議長団には佐藤三千雄氏(練馬区)と井上克巳氏(立川市)が選出され、議事は進められました。

〈石原伸晃衆議院議員が会長に〉

1 会長の変更と
会長推薦理事の
追加選任が行わ
れました。



去る2月21日の
予算総会の際、
小掛会長の辞任を
受けて後任会長に選ばれた大串啓二氏が、辞
意を表明。その後任に石原伸晃氏が執行部よ
り提案され、全員の拍手で承認されました。
(7月1日就任、任期は大串氏の残任期間)
なお、2013年(平成25年)東京国体で
の優勝を目指して選手強化特別委員会会長を
兼ねていた大串前会長は、改めて会長推選理
事に選任され、選手強化に専念することにな
りました。

2 新規加入クラブ9団体承認

日本体育施設陸上競技部(5名、代表大前
裕介氏) ニューモードAC(14名、代表福寿
孝太郎氏) 十条SC(5名、代表大野 恵氏)
台東区陸上競技協会(10名、代表田中 忠氏)

Jアスリート(15名、代表進藤 忠氏) 東京
ウイングス(7名、代表倉田 進氏) NPO
法人T&Fスマイル(10名、代表沢木和春氏)
生涯陸上街道(10名、代表小林祐一郎氏)
TIMEX RUNNING CLUB(52名、代表駒田
博紀氏)

3 事業報告も承認

会員の増加が特記事項であった。
正会員7、112名、准会員・個人登録者
数1、882名、計8、994名で、1、
497名の増加を見た。原因は東京マラソン
と見られます。

〈一般会計は548万円の黒字決算〉

4 会計報告も承認

野澤会計理事より、一般会計、特別会計の
報告及び収支残額の処分案が提案され、藤田
監事より監査結果報告がなされました。これ
らの要点は別表の通りです。

5 登録会員の除名処分について

東陸所屬の陸上競技コーチについて苦情
が寄せられた件で、有澤総務部長は、理事会
の承認を得て、そのコーチを、定款第11条第
1項に該当するとして除名処分にする案を
提案し、承認されました。

6 運営規定の一部改正について

有澤総務部長は、運営規定第6章第15条第
6項中の「記録部」を、「記録情報部」に改
めると共に、第16条第6項中に、「エ、競技
会運営システムの運用管理」を新設したい旨
提案し、承認されました。同日施行。

(お願い：石原会長へのご連絡は、必ず東京陸協事務局を通していただけますようお願いいたします。)

| 一 般 会 計 収 支 | | |
|----------------------|-------------|--|
| 収 入 | | |
| 科 目 | 金額 (円) | 説明 |
| 基本財産運用収入 | 327,451 | 基本財産80,000,000.定期預金の受取利息. |
| 協会収入 | 30,623,600 | 団体登録料1,790,000.個人登録料18,491,200.個人登記料6,637,400.入会金1,010,000.賛助会費2,695,000. |
| 事業収入 | 38,779,600 | 競技会運営収入20,094,950.競技会補助金4,283,500.競技会参加収入6,959,870.選手育成補助金5,044,000.審判育成収入2,281,400.その他115,880. |
| 受託収入 | 24,520,062 | 東京マラソン18,100,000. 荒川市民マラソン4,950,000.東京国際女子マラソン1,470,062. |
| 補助金等収入 | 14,580,000 | |
| 寄付金収入 | 0 | |
| 雑収入 | 1,990,971 | |
| 繰入金収入 | 1,600,000 | 事業積立金特別会計より |
| 収入合計① | 112,421,684 | |
| 支 出 | | |
| 事業費 | 75,477,917 | 競技会運営費27,399,439.選手派遣費(共催)1,518,515.選手派遣費(国体等)12,216,407.受託事業費17,535,167.競技力向上費9,651,449.普及指導費613,000.審判育成費2,440,692.出版事業費467,985.栄賞費239,880.広報情報サービス費3,255,067.女子委員会費140,316. |
| 管理費 | 30,762,266 | 人件費11,320,775.賃金432,300.会議費967,415.旅費交通費3,115,350.通信運搬費1,405,999.消耗品費1,628,198.印刷製本費2,136,610.光熱水費532,355.渉外費551,080.事務所賃貸料3,523,350.その他5,148,834. |
| 支出合計② | 106,240,183 | |
| 減価償却引当金③ | 251,365 | |
| 什器備品費④ | 446,940 | |
| 当期収支差額①-②③④ | 5,483,196 | |
| 前期繰越収支差額 | 5,596,359 | |
| 次期繰越収支差額A | 11,079,555 | |
| 事業積立金特別会計収支 | | |
| 事業積立金特別会計次期繰越収支差額B | 25,798,545 | 前期繰越収支差額27,312,435.-繰入金支出1,600,000.+雑収入86,110. |
| 財政調整積立金特別会計収支 | | |
| 財政調整積立金特別会計次期繰越収支差額C | 29,175,249 | 前期繰越収支差額29,094,039.+雑収入81,210. |
| 次期繰越収支差額合計 | | |
| 次期繰越収支差額A+B+C | 66,053,349 | |
| 東京陸協の基本財産 | | |
| 東京陸協の基本財産 | 80,000,000 | |
| 東京陸協の正味財産 | | |
| 東京陸協の正味財産 | 152,255,946 | 66,053,349.+80,000,000.+減価償却積立金3,892,903.+器具備品309,694.+敷金2,000,000.=152,255,946. |

陸連評議員の補欠選挙の結果

故吉川 進陸連評議員の補欠選挙が、総会当日11時30分より同会場にて行われました。

当選 篠原忠造(小平市陸協) 46票

次点 加藤健二(日野市陸協) 24票

次点 福田光弘(杉並AC) 16票

東京陸協新体制

田中利雄専務理事率いる平成21・22年度東京陸協新体制が第一回理事会で決定しました。
 新会長石原伸晃氏のもと新役員及び役割分担は左記のとおりとなりました。

会長 石原 伸晃

副会長 大串 啓二 内田 勇

専務理事 田中 利雄

陸連理事 有澤 政雄 小松 邦江

陸連評議員 貫井 勝之

陸連評議員 田中 利雄 内田 勇

馬場 孝 宮岡 芳久

田中 右一 川島 康男

(総会選出者を除く)

都体協評議員 田中 利雄

専門部

総務部 部長 有澤 政雄

副部長 小松 邦江

部員 矢作 和昭 高知 貞雄

斎藤 文子 佐藤 貴玖子

藤野 孝一 佐藤 悦郎

大久保 まさ 森下 終身

若林 辰雄 渡邊 實

横田 勝利 戸松 哲男

田島 佐代子

会計部 部長 野澤 恒雄

部員 吉川 徹 松村 隆

福島 雄吉

競技部 部長 川島 康男

審判部

部長 貫井 勝之

副部長 中野 人志

部員 鈴木 一弘 村田 延雄

曾根 弘道 鍾水 正昭

古澤 幸男 田中 利昭

石井 公一 古家 誠一

梶原 克之 潮田 和男

池田 演之 折茂 晃

平田 房雄 浜野 綾子

石上 敬久

関根 春幸 杉本 太郎

赤峰 俊彦 芦田 春幸

荒井 康仁 石井 智也

宇野 一茂 岡田 晃

加藤 恭位 庄田 修司

加藤 義道 小松 愛

関 隆史

副部長 大野 弘

部長 岡本 信夫 小黒 栄信

西川 孝夫 中村 拓也

深井 進 茂木 弘樹

渡辺 律雄 鈴木 弘治

渡井 健太郎 齊藤 幸雄

長浜 和明 上村 佳節

高橋 整 栗屋 澄江

強化部

部長 馬場 孝

副部長 下山 良成

部員 大村 邦英 中村 孝生

笠井 淳 井部 誠一

福元 康貴 千野 達也

小林 隆雄 橋口 広忠

普及部

部長 田中 右一

部員 氏部 和昭 一瀬 秀和

五十嵐 義臣 大串 裕子

川村 文夫 中野 浩

水車 正 尾崎 京子

三須 久子 坪内 雅男

福澤 真吾 荻野 悠輔

小野 忠信 平山 公紀

山口 賢司

福島 信久 米岡 利昌

佐々木 元寛 嶋田 正

平塚 宜信 高沼 正利

鈴木 明 新榮 宏茂

高木 良郎 飯村 光夫

鈴木 存

井口 輝男 根尾 英子

高祖 勝市 久保岡 佳正

森中 カツミ 大内 邦彦

福満 喜弘 井出 力男

大竹 英明

石川 達夫 (オブザーバー)

征矢 範子 水木 学

倉持 昇一 呑口 健

遠藤 尚孝 鈴木 茂雄

正川 澄夫 棟方 拓也

委員会

委員長 中尾 敬治

部員 大谷 久知 雨宮 二六

勝 愛子 佐藤 光信

鈴木 明 梶沢 聖子

川原 英昭 室井 宏一

財務・マーケティング委員会

- 委員長 山 邁邊 昭
- 委員 内田 勇
- 委員 大槻 高弘
- 委員 井口 輝男
- 委員 赤沼 正雄
- 委員 島村 雅之
- 委員 穴戸 正弘
- 委員 樋口 幸好
- 委員 森中カツミ

女子委員会

- 委員長 山崎寿美子
- 委員 田島佐代子
- 委員 秋元 玲子
- 委員 小田切恵美
- 委員 坂上さと子
- 委員 中島 礼子
- 委員 牧野 真千
- 委員 三宅加世子

東京国体対策委員会

- 委員長 鈴木 存
- 副委員長 宮岡 芳久
- 委員 有澤 政雄
- 委員 野澤 恒雄
- 委員 田中 右一
- 委員 中野 浩
- 委員 山口 賢司

東京国体選手強化特別委員会

- 委員長 大串 啓二
- 副委員長 馬場 孝
- 委員 下山 良成
- 委員 岡田 政次
- 委員 大村 邦英
- 委員 水木 学
- 委員 瀬古 利彦

- 特別委員 中村 哲郎
- 特別委員 井部 誠一
- 特別委員 笠井 淳
- 特別委員 福元 康貴
- 特別委員 鈴木 茂雄

新規事業委員会

- 委員長 小山田竜二
- 副委員長 内田 勇
- 委員 小松 邦江
- 委員 大槻 高弘
- 委員 森下 終身
- 委員 鈴木喜久男
- 委員 佐藤三千雄
- 委員 潮田 和男

新会長挨拶

石原伸晃でございます。皆様のご推挙により、6月末の総会でご承認を頂き、7月1日付で東京陸協会長を務めさせていただきますこととなりました。

本年度で創立74年目となります歴史と伝統ある東京陸協の会長をお引き受けするに当たり、70周年記念誌「飛翔」を拝見させていただきました。これまでに多くの優秀な競技者が育ち、東京から世界に羽ばたいています。また、1964年東京オリンピック、1991年世界陸上、その他多くの国際大会を見事に運営されました。今、最も注目を集めている東京マラソンの競技運営を一手に引き受け、大成功を収めております。まさに日本の陸上界をリードする存在であることを再認識いたしました。東京陸協の動きは常に日本中の陸上競技関係者が注目しています。

2013年東京国体まであと3年半。そして2016年東京オリンピックも実現の可能性が高まっております。東京陸協がひとつになり、さらには日本全体が一丸となって取り組み、元気で明るい社会が実現するよう微力ながら努力いたします。

私は子供のときからヨットに親しみ、荒れた

海での厳しい練習に取り組んでまいりました。また学生時代には体育会少林寺拳法部に所属し、心身ともに鍛えられました。私の座右の銘は小泉信三先生の「練習は不可能を可能にす」です。

東京陸協は「強い東京」のスローガンを掲げ、選手強化に取り組んでいます。選手のみならず自己の目標に向かってひたむきに努力していることと思います。ご指導くださいますコーチの皆様にも大変ご苦労いただいております。選手強化に取り組む皆様のお声に耳を傾け、環境整備をすることも東京陸協の大きな役目です。

私は機会を見つけて競技会に足を運び、選手・コーチ・競技役員の方々等現場で活躍されていらっしゃる皆様とお話しさせていただきたいと思っております。

陸上競技の仲間として東京陸協のお役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

東京陸協改革元年に!!

副会長 大串啓二

東京陸上競技協会が昭和10年(一九三五年)に創立されて、本年で七十四年目になりました。創立以来一貫して陸上競技の普及、発展に努めて参りました。これも諸先輩各位の陸上競技に対する情熱、努力の賜物と感謝致しております。

副会長として、これまでの努力を無にすることなく更なる発展に尽す所存でございます。

東京は四年後の二〇一三年に国民体育大会開催が決定しております。東京陸協のすべてを結集して準備にあたり、四十六道府県の範たる競技運営をしなければなりません。併せて大会成

功のカギは何としても地元東京代表選手の活躍、総合優勝を達成しなければなりません。そのために専門部会に加え新たに『東京国体対策委員会』及び『東京国体選手強化特別委員会』を新設致しました。

近年スポーツ界をとりまく環境は大変きびしい状況にあります。東京国体成功に向けて組織を挙げて取り組んでいかなければなりません。近年の社会は急激に変化しており、その時代に即した対応、対策が必要です。東京国体を契機に組織の活性化に向けて、全力で取り組んでいかなければなりません。

東京国体対策委員会に加え、『財務、マーケティング委員会』及び『新規事業委員会』を設置致します。

本年度は特に組織の活性化、優秀な人材の確保、財政基盤の確立・強化及び競技会・事業の見直し等を主要なテーマとして検討を重ね、更なる東京陸協発展に向けて邁進していきたいと願っております。

会員の皆さん、関係者各位のご理解とご協力を心より願うものであります。

今、何をすべきか

副会長 鈴木 存

古希を迎え、そろそろ自分の時間を作ろうかなと思っていたところへ、副会長へ推挙との連絡を受け、大いに戸惑いを感じました。いろいろと考えてみましたが、これまで多くの人に支えられてやってきた陸上競技人生、その総括をしながら皆様への恩返しもしなければならぬとの決断をし、お引き受けすることとなりました。より充実した東京陸協にするため微力ながら

からお役に立てればと思っております。

近年、東京陸協のキャッチフレーズとなっている「強い東京」の真価を問われる東京国体が二〇一三年にやって参ります。副会長就任と同時に東京国体対策委員会の委員長も兼務するようにとの命令を受けその責任の重さをひしひしと感じております。会員の皆様と総力を結集して、何としても成功させなければなりません。地元選手の活躍による陸上競技での総合優勝は絶対的な使命です。強化委員長、部長を中心に対策の検討も進められています。

一方、大会運営での一番の問題点となっていた会場も「味の素スタジアム」に決定し、具体的な内容の検討も進んでいます。国体の前年である二〇一二年の春には主競技場、補助競技場が完成する予定です。

東京には補助競技場のある会場がないといわれ、国際大会を初めとする大きな大会が東京から離れていつている現状を、これを機会に東京へ復帰させることも東京陸協として今後の大きな課題となってきました。しばらく聞くことのない「日本新記録の誕生です」といったアナウンスが東京の会場で聞けるよう期待したいものです。

少子化の中、陸上競技離れの傾向にあるジュニア層の育成も課題のひとつです。魅力のある陸上競技へと進化させたいものです。

戸惑いを感じている間に、大きな仕事が続から次へとやってきます。忙しさの中に自分がやるべきものが見えてきたようにも思え、徐々に意欲もわいてきました。

若い世代も一緒になって夢と希望がもてる東京陸協にするために会員の皆様の限りないお力添えをお願いいたします。

専務理事として・・・

専務理事 田中利雄

本年二月二十一日総会後の新理事会で専務理事の重責を任命されました。

微力ではございますが皆様方のご指導、ご教示を賜りながら東京陸協の業務執行を行ってまいり所存でございますので宜しくお願い申し上げます。

さて、大変厳しい社会環境の中で私ども東京陸協の運営面、特に財政面においては今後益々厳しい状況下に置かれる事と思われまます。

また四年後の東京国体に向け、勝つための選手強化及び大会運営準備に当たらなければなりません。

そのためには、これから起こりうる多くの課題を乗り越えて行くためにも現環境を敏感に受け止め、その変化に即応できる新しい執行部体制で東京陸協の運営にあたっていかねばならないと考えております。

それには、従来の組織及び仕組み等の見直しを行い現状にふさわしい組織改革を進めてまいり所存でございます。

そこで、今期の活動に当たり、東京国体準備推進、二、財政の確保、三、組織運営の効率化。以上三つの重点活動指針を策定し、また従来の委員会等の統廃合を行い、新しく三役会・執行部会議・特別委員会の新設を行うと共に各専門部会委員会には業務指標を提示し、目的・目標を明確にした活動をお願いし、その活動の成果を分析し課題対策を繰り返し行いながら各部門のより良い向上を組織的に図ってまいり所存でございます。

スタートして間もない新執行部ではございますが、東京陸協改革のために努力してまいります。

すので、皆様方のなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さる六月二十日の本年度第一回総会で石原伸晃氏が満場一致で会長に推挙されました。

四年後の東京国体及び七年後のオリンピック誘致が成功した場合、スポーツの原点である陸上競技を管轄する東京陸協の役割は大変重要になるわけでございます。

石原会長にはこのような課題を乗り越えて行くために強力なご指導を頂きながら更なる東京陸協発展のためにご尽力を賜りたくご期待を申し上げます。

会報発行に当たり三言のご挨拶とさせていただきます。

世界への縁の下の力持ちを目指して

総務部長 有澤政雄

平成二十二年度の総務部の陣容は部長の他に、副部長として、小松邦江理事を迎え、部員十五名と、一丸となつてスタートすることになった。

今年の大きな柱は、「仕事をしない者は去れ」である。と言いながらも、総務部は、担当していて良かったと言われるよう楽しく厳しく業務を遂行していきたいと思っておりますので、会員の皆様の暖かいまなざしをお願いします。

特に、今年には東京国体開催に向けて具体的な項目を出しながら進めていく時期となった。総務部でやらなければいけないこと、出来ることを整理して、東京国体の陸上競技はすばらしいといわれるよう準備を進めていきます。

また、新公益法人化のメリット、デメリットを整理し、東陸の進むべき方向を見出し皆さんに提案できるようにしていきます。

このような、大きな問題のほかに、総務部の通常業務として、年二回の通常総会の開催準備、理事会の資料準備、新規加入団体の申請のチェック、大会における会員向けの物品販売、庶務係業務等多岐に渡つてやるべきことがあります。更に、他の専門部と、より強い連携も重要であります。

部として大きな業務である第1回定時総会(6月20日開催)を、部員全員で準備から当日の作業までをこなし、その後の出欠の集計、議事録の作成等の後日処理と、息つく暇もなく部活動は続いています。

平成21年度会計部事業目標

会計部長 野澤恒雄

1. 財政の健全化

厳しい経済状況の中、収入増へ向けての財政基盤の強化と、支出の全面的な削減を図り、少ない予算での事業効率を図ることを目標として事業を推進していきたい。

2. 競技会収支の改善

競技会の収支状況を改善し、効率的な大会運営を図り、収支の改善を図る。

3. 公益法人制度改革に関する移行手続き準備の推進

- ① 新々会計基準による経理処理の早期実施
- ② 新しい公益法人移行手続き準備作業の推進

競技部として・・・

競技部長 川島康男

長い歴史と伝統を持つ、(社)東京陸上競技協会の競技部長を仰せつかりました。精一杯頑張っ

て行きますので、よろしくお願ひ申し上げます。

近年都内の競技会及びマラソン・ロードレース等の開催が増加し、毎週土・日曜日は都内のどこかで大会が開催されております。これは全国でも一番多い陸協かと思ひます。年間を通して、これだけの多くの競技会が開催されていますと、競技場の確保も難しくなり、年間の競技日程もなるべく重ならないように調整する必要がありますかと思ひます。一つの大会を開催するには、要項の作成から入ります。申し込み、プログラム編成、競技場との打合せ、その他開催までには、多くの時間を費やします。都内各地域の方々は、このような作業を進行し、大会準備に当たっているかと思ひます。その中には、競技部が参考にさせて頂くところも多々あるかと思ひます。その節は、ご協力のほどよろしくお願ひ致します。競技部は地域の方々のお知恵を拝借しながら、また、他の専門部の方々とも連携を取りながら、より良い競技会運営が出来るように頑張つて行きたいと思つております。また、来たる東京国体に向かつて、各会員の方々からも多くのご意見を頂きながら、着々と準備を進めていきます。競技部は各競技会大会開催に向けて、非常に幅広い分野で仕事をいたします。会員の皆様方のご助言やご協力を頂きながら、頑張つて行きますので、よろしくお願ひ申し上げます。

審判部の活動について

審判部長 貴井勝之

田中利雄専務理事から引き継ぎました。2年間よろしくお願ひいたします。

ご承知の通り2013年に国体が東京で開催

されます。審判活動を含め、競技運営について本格的に取り組まなければならぬ時期にきました。会場は調布市の「味の素スタジアム」に決まり、スタンドは出来上がっていますがトラック、サブトラックともにまだ工事が始まっていません。工事の関係で「味の素スタジアム」を使つての事前の競技会がいつから始められるかわかりませんが、遅くとも2013年の東京選手権、日本選手権は「味の素スタジアム」を使って実施しなければなりません。東京陸協として、2013年の日本選手権開催申請を早急に陸連へ出す必要があります。

国体では審判員が約500名必要となり、期間が5日間ということで審判員の確保が大変重要なこととなりますが、現在の東京陸協の審判員の状況は次表の通りです。したがって国体に向けての課題をあげると次のようになります。今期はこの課題解決に重点を置き、国体に向けての地盤作りをしたいと思えます。

- 1 若い人達の審判員養成
- 2 審判長、主任クラスの養成
- 3 新しいシステム(情報処理、イベントプレゼンテーション等)の確立

このほかにも課題はありますが、審判部だけで解決できるわけではありません。日常の競技会での国体を意識した審判員行動「競技者に接する態度、競技者・観客に対しての情報提供(記録表示の仕方)等」、各クラブで若い人達への審判員資格取得の声かけ等、皆様のご協力が必要です。国体成功のために全力を注ぎたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

審判講習会(2009年)受講者の年齢

| | | | |
|--------------|----|------|------|
| 部 署 | 人数 | 平均 | 標準偏差 |
| 1 記録員(番組編成員) | 53 | 59.8 | 14.3 |
| 2 情報処理員 | 36 | 49.9 | 11.8 |

| | | | | |
|----|-------------|------|------|------|
| 3 | アナウンサー | 38 | 49.8 | 13.4 |
| 4 | 表彰係 | 11 | 60.0 | 19.9 |
| 5 | 表彰状係(筆耕) | 12 | 63.8 | 12.3 |
| 6 | 電光掲示係 | 12 | 57.1 | 12.9 |
| 7 | 場内司令 | 41 | 66.5 | 10.7 |
| 8 | 医務員(医師・看護師) | 10 | 58.0 | 12.1 |
| 9 | 競技者係 | 124 | 59.7 | 13.3 |
| 10 | 役員係 | 28 | 65.2 | 12.7 |
| 11 | 報道係 | 13 | 63.8 | 8.7 |
| 12 | 公式計測員+用器具係 | 92 | 67.0 | 12.1 |
| 13 | 風力計測員 | 42 | 58.3 | 12.7 |
| 14 | 決勝審判員 | 72 | 61.1 | 10.8 |
| 15 | 計時員 | 78 | 64.4 | 9.9 |
| 16 | 写真判定員 | 50 | 51.1 | 12.6 |
| 17 | 周回記録員 | 43 | 62.7 | 9.4 |
| 18 | スターター | 67 | 51.8 | 15.6 |
| 19 | 出発係 | 114 | 58.7 | 11.5 |
| 20 | 監察員 | 237 | 66.7 | 8.9 |
| 21 | 競歩審判員 | 7 | 43.3 | 20.5 |
| 22 | 跳躍審判員 | 155 | 58.1 | 14.4 |
| 23 | 投てき審判員 | 93 | 60.0 | 13.3 |
| 24 | 無記入 | 24 | 52.9 | 15.2 |
| 25 | 全体 | 1452 | 60.0 | 13.2 |

ITから、その先の夢へ

記録情報部長 石上敬久

私の選挙での公約「組織の構築」とは、全然異なる仕事の割り振りに、大変、戸惑っておりますが、全く白紙の状態から、記録情報部として東京陸協の為に、最良の仕事は、如何にすべきかを見極めたい。

東京陸協では5年前に「IT委員会」を立ち上げ、陸上競技における、パソコンの導入を推

進して参りました。ようやく、競技会に於きまして、認知され「記録」の正確かつ、迅速な発表、管理等軌道に乗ってまいりました。今期からはIT委員会を解消し記録部に統合し「記録情報部」として更なる展開を目指す事と成ります。

まだまだ、完成されたわけではありません。改善・改良を加え、誰もが理解でき、取り扱えるようなシステムを作り上げ、各種競技会に貸し出しできる様なものと思えます。

どちらかと言うと、従来、記録部の仕事は、競技会の記録の集計、保存等、守りの部分が多かったが、これからは、攻めの姿勢への転換を積極的に推進して行く事が求められます。

私の仕事としては、部員の仕事やり易い場を作り、風通しの良い自由闊達な意見の交換が出来、情報を全員が共通のものとして認識する組織にしたいと思えます。そして、記録情報部全員で、陸上競技会に於ける、IT化の推進が、どの分野で、何処まで出来るのか、可能性に挑戦して行きたい。

何分とも一年生であり、私としては、暗中模索の段階ですが、部員の大半の方が引き続き部員として活動します、私も勉強しながら活動を展開して行く所存です。

会員の皆様、お気付きの事が在れば、どんどんご意見を頂きたいと思えます、と同時にご協力を宜しくお願い申し上げます。

強化部年間事業計画

強化部長 馬場 孝

平成21年度強化部目標

東京国体に向けての7カ年計画に基づき、新潟国民体育大会については、以下のように目標

を設定した。東京都をはじめとして、多方面からのサポートが得られたことで、プランは前進しているものの、20年度大分国民体育大会においては、十分な成績をあげるに至らなかった。国体強化プロジェクトとの連携を図り、あらためて指導体制を見直し、企画及び指導育成強化をしていきたい。

また、駅伝については、昨年度一定の成果がでていたものの、ジュニア層の育成は急務である。ジュニア層(小・中)から実業団までの連携を図り、さらに強化育成をしていきたい。

イ・具体的目標

①トキめき新潟国民体育大会

天島杯 4位入賞

皇后杯 4位入賞

②駅伝競走大会

東日本女子駅伝 優勝

都道府県女子駅伝 8位入賞

都道府県男子駅伝 8位入賞

③ジュニアサポート

・日本そして世界で活躍できる、将来性のある、ジュニアアスリートの発掘、育成。

ロ・事業予定

①国体強化計画

トキめき新潟国体に向けての強化事業

○国体選考会(東京選手権・東陸記録会・国体選考会の3試合で選手選出)

○国体練習会(8~9月)

○国体強化合宿

8月 第1次合宿(強化練習)

9月 第2次合宿

(強化練習・国体ガイドダンス)

○トキめき新潟国体派遣(新潟・ビッグスワン)

②国体強化プロジェクト

会長直轄の特別委員会として、本年度スタート

○定期総会をめぐりにスタッフ構成や事業の具体的なプランを作成し、実施運営していく。

③ジュニア強化事業

主として、中・高校生の強化事業、練習会やそのまとめとしての合宿を通じて、幅広い選手層の強化と育成をはかる。

○東京都ジュニア強化練習会(通年・駅伝プロジェクトや小学生練習会と事業連携)

○東京都ジュニア強化合宿

中学生 12月(①関東選抜合宿派遣)

高校生 12月(①ブロック別強化合宿)

3月(①東京都小中学生強化合宿・普及部と連携)

3月(②関東選抜合宿派遣)

3月(①東京都強化合宿)

②全国選抜合宿派遣)

④東京都による国体強化事業

東京都を中心として、東京都文化スポーツ事業団や東京都教育委員会を通じて高体連や中体連・小学生対象に実施される事業のサポート

○高体連特別強化事業

○中体連強化特別事業

○東京都文化スポーツ事業団 選手強化事業(高校生20名前後)

・医学サポート・コンディショニングサポート・大学との連携・派遣事業等

○国体特別事業ジュニア(小学生・中学生)強化選手の選抜と練習

⑤駅伝プロジェクト

三大駅伝での上位入賞を目指し、実業団を

初めとして、大学・高校・中学生のトップアスリートを年度計画に基づき、強化していく。

○強化練習会(通年 月1回、中・高校の練習会と連携)

○強化合宿(8月 12月)

○東日本・全国駅伝選考事業(9月・10月)

○東日本女子駅伝派遣(福島) 11月

○都道府県女子駅伝競走大会派遣(京都) 1月

○都道府県女子駅伝競走大会派遣(広島) 1月

普及部として・・・

普及部長 田中右一

普及部の活性化及び活動実績の向上を目指して、3つのカテゴリーに分けて推進していく方針です。

①底辺の拡大

2009年東京マラソンの応募者は、26万人を越え、一般市民ランナーは増加の一途であるが、残念ながら小学生、中学生の陸上競技人口は増加せず低迷しているのが現状です。サッカーや野球のように、多数の小中学生を集めるためには、陸上競技の楽しさや魅力を伝えるクラブ作り、指導等を充実させる事により、1人でも多くの陸上競技ファンを作りたい。

②指導者の育成

小中学生に対して魅力ある陸上競技を伝達、指導を目標に、JAAFジュニア育成クリニック、陸連主催の全国小学生陸上競技指導者中央研修会への参加及び日体協公認スポーツ指導者(陸上競技指導員)研修会の開催等を骨子として

育成する。

③強化部との連携

2013年東京国体へ向けて、強い東京を目標に従来の慣習に捕らわれず強化部との連携を密にして、優秀な選手の発掘と強化育成を推進する。本年度からは全国小学生陸上交流大会参加選手のユニフォームは、国体ユニフォームを採用し、将来を担う選手に「東京の代表として国体に出場したい」との夢を与える事により、子供達の心に東京代表のすばらしさを実感してもらう予定です。

競技場管理部として・・・

競技場管理部長 山口賢司

この度、競技場管理部長に就任致しました、山口賢司です。

陸上競技のルールの原点とも言うべき、競技場・競走路等に関する役割に携わることとなり、気が引き締まる思いです。

さて現在、東京都内における陸上競技関連の施設設備は決して満足のいくものではありません。人口に対する総数や、公認2種以上の競技場の充実度など、他の道府県に見習うべき点多々あります。昨今の財政状況から、新たな施設を数多くということは決して望めません。しかし、少なくとも4年後に控えた東京国体開催を機に、メイン会場関連の整備や、現存する施設の充実を図ることは可能だと思います。国体メイン会場の早期完成や、競技会開催が可能な補助競技場を完成させることが、我々が願っている、陸上競技の競技力向上・陸上競技の発展につながる近道だと思えます。

首都東京の行政と東京陸協がタッグを組み、

日本一の陸上競技タウン作りを目指すとともに、陸上競技にとどまることなくスポーツ界全体を盛り上げられるよう努力したいと思います。

喜ばれる広報活動を！

広報部長 井口輝男

私は、コンピューターで文を作ったり、計算などをしておりますが、ホームページやメールはやっております。しかし、大部分の人はやっていないような時代になりました。

陸上競技やロードレースの問い合わせや申込も記録の検索も、まず、ホームページやメールからアクセスし、その次に電話やファックスによるケースが多いようです。

このたび、田中利雄専務に「おまへは広報をやれ」と言われました。私は、二つ返事で「よっしゃー」と言いました。仲間もやる気いっばいで、エイブルな方ばかりです。

私は、次のような提案をしました。

「広報誌の発行回数を減らし、配布部数も代表委員数+希望数?とする。ホームページの内容をリアルタイム化し、広報誌のデメリットを大きくカバーする。経費節減に繋げる。」

全員が賛成してくれました。東京陸協の全会員に喜ばれる広報活動をお願いします。ご期待ください。

財務・マーケティング委員会として・・・

委員長 内田 勇

平成21年度役員の改選に伴い、東京陸協の新規

事業として、2つの委員会を設置しました。この委員会は、財源の確保と経費の節約をテーマに取り組んでいきます。現在、厳しい経済状況の中で企業からの協賛金の確保が困難な状況です。

委員会総力を挙げて、下記事項に取り組みしていきます。会員の皆様のご協力とご理解をお願い致します。

東京陸協の活性化・魅力創りの提案

1、陸上競技者にとっての魅力

大会情報・大会結果の更新・レースそのものの魅力・利便性のある登録システム

2、一般ランナーにとっての魅力

登録することの魅力・楽しいホームページ
3、スポンサーにとっての魅力

協賛大会そのものの魅力・協賛メリットの構築・登録者数・大会参加者数という

「数」の魅力

ではどうすればいいのか

主催・主管大会の見直し・登録するメリットの検討・インターネットの活用

メルマガでの各種情報発信(大会情報・スポンサー情報)

スポンサーメリットの研究と営業

協賛価値のある大会を作る・露出機会の研究(ナンバークード・ホームページ・各種サンプリング・イベントブース・プログラム広告)

協賛企画書の作成・東陸オフィシャルスポンサーの営業

登録システムとランネットを使つての提案

登記登録システムの機械化・ランネット大会エントリーとの連携システム

東京陸協の事業運営について発想の転換を図る必要があります。この委員会から活性化について理事会に提案してまいります。

東京陸協 競技会開催予定

| | 日程 | 曜日 | 大会名 | 競技場 |
|----|---------|-------|--------------------------|---------|
| 1 | 8/14～16 | 金・土・日 | 第44回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会 | 国立競技場 |
| 2 | 8/15・16 | 土・日 | 第64回国民体育大会東京都代表選手選考会 | 駒沢 |
| 3 | 9月6日 | 日 | 都民生涯スポーツ大会「陸上競技」 | 駒沢 |
| 4 | 9/11～13 | 金・土・日 | 東京2009 アジアユースパラゲームス | 国立競技場 |
| 5 | 9/12・13 | 土・日 | 第21回東京ジュニア陸上競技 | 夢の島 |
| 6 | 9月27日 | 土 | シニア健康マラソン | 戸田橋競技場 |
| 7 | 10月4日 | 日 | 2009 グリーンリボンランニングフェスティバル | 国立競技場 |
| 8 | 10月4日 | 日 | 第49回東京女子陸上競技会 | 駒沢 |
| 9 | 10月10日 | 土 | 平成21年度 第2回東陸競技会 | 駒沢 |
| 10 | 10月10日 | 土 | 第3回東京キッズチャンピオン大会 | 夢の島 |
| 11 | 10月18日 | 日 | 東京10KMハロウィンラン 2009 | 国立競技場 |
| 12 | 11月3日 | 火 | 東京都 高等学校駅伝競走大会 | 戸田橋競技場 |
| 13 | 11月15日 | 日 | 東京アスレティックカーニバル | 国立競技場 |
| 14 | 11月 | 調整中 | 盲人ロードレース | 国立競技場 |
| 15 | 11月29日 | 調整中 | 東陸競技会(駅伝予選) | 駒沢 |
| 16 | 12月20日 | 日 | 東京都小学生駅伝ロードレース | 戸田橋競技場 |
| 17 | 1月1日 | 金 | 第58回元旦競歩大会 | 神宮外苑 |
| 18 | 2月21日 | 日 | 第44回青梅マラソン | 青梅公認コース |
| 19 | 2月28日 | 日 | 2010東京マラソン | 都内公認コース |
| 20 | 3月14日 | 日 | 第63回都民体育大会(駅伝競走) | 戸田橋競技場 |
| 21 | 3月21日 | 日 | 第13回東京荒川市民マラソン | 荒川河川敷 |

※事情により、変更される場合があります。

ク ラ ブ 紹 介

ポポロAC

当クラブ（ポポロAC）は1973年に走り好きの仲間が集い結成され、創立35年を超えました。ポポロはイタリア語で「人々」という意味です。ランナーのための、ランナーが育て上げたクラブです。現在は、90余名（うち陸連登録者32名）の方が入部しています。20歳代から70歳代までの初級者（週1回程度は走っている方）から短中長距離陸上競技経験者（5000m15分、16分程度）、フルマラソンサブスリーランナーまで様々な人が自分の目標（トラック、ロードレースやフルマラソン等）に向かって楽しみながら走ることに取り組んでいます。

クラブ練習会は、毎週火曜日の19時から渋谷区の代々木公園内にある織田フィールドにて行っています。この陸上競技場は、シャワー付のロッカールーム（無料）が完備されているので会社帰りでも便利です。それぞれの走力に合わせてAからEグループに別れて、春・夏・秋期は主にインターバル走、冬期は主にペース走・ビルドアップ走に取り組んでいます。グループ毎に刺激し合いながら走力を高めています。その他にも月1回のタイムトライアルや講師をお願いしてランニング教室も行っています。



年間行事としては、クラブ推奨レース（駅伝大会、トラックレース、ハーフ、フルマラソン）とクラブ推奨行事（新年会、春のミニ合宿、クラブ総会、記録会、夏合宿、忘年会）を決めています。クラブ総会では、練習会の充実をはかるために討議を行っています。総会の後には記録会、交流会を行っています。推奨レースでは、青梅マラソン、熊谷さくらマラソン、春季陸上大会、大田原マラソンなどに参加しています。

運営組織としては、運営委員会を組織しています。練習部、編集部、事務局等の作業を分担して、みんなで協力しながら運営に当たっています。毎月1回委員会及び各部会を定期的に開催しています。検討内容は、運営全般、練習内容、行事企画などについてです。編集部では月1回、機関誌「あすなろ」を発行しています。内容は、クラブ員からの投稿を中心にレース報告、練習会の報告（練習会のまとめと参加者のコメント）、クラブ員の連載物など多彩なものになっています。

ホームページを開設していますので、「ポポロAC」と検索して、興味のある方は訪問してみてください。新規会員の募集も行っています。

紹介 クラブ

NTTデータアイ

陸上競技部

今年度から東京陸協に所属いたしましたNTTデータアイ陸上競技部です。我がチームは、システムインテグレーターであるNTTデータの4つのグループ会社が2008年10月に統合して「NTTデータアイ」が誕生したことをきっかけに、4社の熱いランナーたちが集まって結成した、まだ創立して間もない新しいチームです。メンバーは20代〜30代の若手社員で職務内容が多様のため、一緒に練習できる機会が少ないのですが、夢を共有できる仲間と出会い、強い愛社精神を絆にして一からチームを作り上げる苦労と喜びを実感しながら、希望を胸に一丸となって陸上競技に情熱を注いでいます。

メンバーは日々の仕事をこなしながら、月1〜2回の練習会を行い、年2回の合宿を行っています。主な活動拠点はトラックで、お互いにアドバイスを交えつつレベルに応じたスピード練習を行っています。また、都内近郊の運動公園のランニングコースやロードでのLSDなどを基本に、それぞれが課題を明確にして練習に励んでいます。合宿では、朝・昼・夜の三部練習を組み立てて、伊豆のクロスカントリーコースや海岸の砂浜を利用して走



力の向上を図っています。練習会でも合宿でも、ひとりではできないような刺激的で密度の濃い練習を中心に、励ましあいながらじっくりと取り組んでいます。

大会では、記録会をはじめ、様々なロードレース、駅伝への出場を予定しています。すでに今春の競技会で1500m 4分12秒5や3000m SC9分54秒28という実績を上げているメンバーもいますが、陸上競技の未経験者も含めて、全員が切磋琢磨しつつ得意種目で次の段階へとステップアップしています。目標は、常に自己記録更新を目指すこと、そして、NTTデータアイという社名とともに福岡国際や横浜国際女子といった国際的なマラソンのレースに出場して、自分たちの足で我がチームと我が社の歴史を一歩ずつ築いていくことです。

気合い十分ながらチームのユニフォームはまだ制作中なのですが、今後の大会で、全員がアイディアを出し合って決めたNTTデータアイのユニフォームで走るのを心待ちにしています。仕事では日々パソコンの画面と向きあう超インドア派ですが、練習・大会ではガッツあふれるアスリートに変身して力走しますので、どうぞよろしくお願ひします。

平成21年度賛助会員一覧

御協力有難う御座います

- 小黒 栄信 (千代田)
- 保谷 準 (西東京市)
- 篠原 忠造 (小平市)
- 井上 敦夫 (東京消防庁)
- マツト株式会社
- 嶋村 芳子 (日体ク)
- 佐藤 三千雄 (練馬AC)
- 伊藤 陽三 (明大紫交)
- 松井 達也 (狛江市)
- 横山 弘 (江東区)
- 安藤 弘尚 (墨田区)
- 内田 勇 (西東京市)
- 田中 右一 (八王子市)
- 下山 良成 (八王子AC)
- 宮本 守隆 (墨東走友)
- 川島 康男 (新宿区)
- 鈴木 喜久男 (練馬AC)
- 窪塚 哲朗 (JR東日本)
- 石井 キヨ子 (渋谷区)
- 長田 孳 (練馬AC)
- 寺脇 登 (目黒区)
- 荒川 寛 (有楽陸友)
- 清水 高宏 (JR東日本)
- 市村 眞 (江戸川区)
- 菊川 喜久男 (杉並AC)
- 櫻井 助治 (東村山市)
- 板倉 武 (小平市)
- 宮川 喜一 (昭島市)
- 齋藤 文子 (渋谷区)
- 花圓 澄明 (練馬区)
- 堀江 静男 (世田谷区)
- 高嶋 皖 (多摩川ク)
- 小野瀬 正博 (渋谷区)
- 村田 延雄 (警視庁ク)
- 久保岡 佳正 (豊島区)
- 阿部 寿幸 (有楽陸友)
- 三橋 敏武 (文京区)
- 桑名 令子
- 大倉 政保 (大田区)
- 小松 邦江 (東京茗友ク)
- 佐藤 良男 (東京茗友ク)
- 近藤 鶴義 (東村山市)
- 大嶽 秀行 (葛飾区)
- 堀口 利夫
- 岡村 定夫 (豊島区)
- 桑原 則夫
- 井出 力男 (警視庁ク)
- 酒井 義典 (多摩川ク)
- 井筒 千秋 (千代田区)
- 柳沢 忠俊 (JR東日本)
- 神戸 秀二 (JR東日本)
- 若林 秀雄 (豊島区)
- 浅沼 健二 (江東区)
- 石上 敬久 (M・アカデミー)
- 福島 雄吉 (千代田陸上ク)
- 篠原 庸雄 (練馬AC)
- 今治 英一
- 増岡 秀一
- 小島 壽一郎
- 青地 清助 (江東区)
- 飯野 秋治
- 野宮 孝志 (三鷹市)
- 北島 正市 (国立市)
- 野崎 光雄
- 野崎 忠信 (東学大ARC)
- 来栖 章 (東学大ARC)
- 貫井 勝之 (板橋区)
- 豊泉 和男 (板橋区)
- 栗山 勝男 (江東区)
- 矢作 和昭 (葛飾区)
- 瀬戸口 正雄 (葛飾区)
- 鶴田 克巳 (練馬区)
- 渡辺 實 (M・アカデミー)
- 澁谷 光二
- 吉本 延男
- 石田 汎 (西東京市)
- 村岡 忠明 (日大桜門陸友)
- 中田 安彦 (警視庁ク)
- 藤橋 多一郎
- 星野 敦志
- 野村 武弘 (武蔵村山市)
- 田代 清久
- 吉川 節郎 (日航RC)
- 千葉 洋助 (あきる野市)
- 瀬戸 和美 (JR東日本)
- 田中 正治 (JR東日本)
- 山口 一男 (JR東日本)
- 赤沼 正雄 (JR東日本)
- 浅見 邦一 (昭島市)
- 田中 利雄 (立川市)
- 梶原 玲
- 秋山 英雄
- 杉並区陸上競技協会
- 千葉 三郎 (豊島区)
- 平沼 晃城
- 柴田 薫 (北区)
- 井上 有美 (セントポールク)
- 深井 進 (江戸川区)
- 大平 俊和
- 鈴木 寛子
- 栗田 浩三
- 浜松 ヨシ江
- 大久保 進二
- 折野 栄子
- 矢ヶ崎 金造 (三鷹市)
- 市川 力男 (武蔵野市)
- 中村 直司 (新宿区)
- 中島 純子
- 中島 祐二
- 千葉 一雄
- 唐崎 英明
- 鈴木 存 (八王子AC)
- 鈴木 亀太郎 (立川市)
- 浅野 光男 (三鷹市)
- 太田 一司
- 赤木 理二
- 滑 年雄
- 松田 幹男
- 田所 秀雄
- 大野 利雄
- 墨東走友会
- 染谷 秀雄 (西東京市)
- 皆越 安之 (北区)
- 飯田 光信

- | | |
|------------------|----------------|
| 伊藤 光夫 | 小野崎 徹 |
| 結城 正光 | 馬場 孝 (日大桜門陸友) |
| 長岡 俊男 (狛江市) | 有澤 政雄 (横河電機同好) |
| 猪瀬 尚志 (北区) | 下田 喜一 (武蔵村山市) |
| 潮田 和男 (北区) | 加藤 健二 (日野市) |
| 峰尾 公次 (八王子市) | 玉國 正義 (北区) |
| 黒滝 直昭 | 市村 勇輔 |
| 石田 良子 (狛江市) | 市村 奈々子 |
| 豊島 富美子 (板橋区) | 市村 都奈子 |
| 岡本 信夫 (トリアランニング) | 井上 吉孝 (多摩川ク) |
| 水谷 良三 | 浅野 宣義 (日清食品) |
| 萩田 勝久 | 長谷部 実 (品川区) |
| 藤田 幸雄 (法友陸上ク) | 宮岡 芳久 (昭島市) |
| 吉川 進 (大田区) | 平塚 宣信 (大田区) |
| AC・KITA | 小澤 倉吉 (青梅市) |
| 加藤 春雄 (練馬区) | 中村 公彦 (府中市) |
| 牧野 勇 | 荒川 友博 |
| 高倉 裕 (東村山市) | 伊藤 慎一 (東学大ARC) |
| 安部 俊成 | 渡辺 恒久 |
| 堀口 豊 (東京ランニング) | 富田 雄耕 |
| 岡村 武彦 (日野市) | 渡井 健太郎 (千代田区) |
| エスビー食品(株)スポーツ推進局 | 根岸 浩美 |
| 青木 収 | 清水 一 |
| 樋口 京子 (国分寺市) | 柏木 健治 |
| 樋口 幸好 (東村山市) | 澤田 五男 (農林走友) |
| 島中 康生 | 森中 カツミ (東村山市) |
| 水久保 亮一 (多摩川ク) | 勝 愛子 (泉ジョギング) |
| 石塚 功 (東京消防庁) | 石郷岡 範昭 (東京陸協) |
| 東京消防庁 | 山崎 壽美子 (板橋区) |
| 佐藤 正吉 | 山田 孝志 |
| 中島 勝良 (JR東日本) | 辻 一夫 |
| 鈴木 一夫 (東京電力) | 中尾 洋 |
| 五味 恵 (有楽陸友) | 小山 信利 |

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 山崎 善高 | 熊谷 茂 | 新宿区陸上競技協会 |
| 井上 伸一 (江戸川区) | 藤井 賜子 (豊島区) | |
| 伊吹 洋二 | 相原 正利 | |
| 村上 浩基 | 平原 順也 | |
| 平原 薫 | 平内 誠 | |
| 林 宣敬 | 星 ふよ子 | |
| 高田 光雄 | 右近 祥子 | |
| 石井 孝朗 | 井野 崇 | |
| 伊藤 徳之助 | 江澤 勝正 | |
| 細田 章 (小金井市) | 岩本 一寿 | |
- 平成21年6月30日現在

訃 報

陸連評議員 吉川 進様
去る4月25日亡くなら
れました。ここに、生前
の功績をしのび謹んでご
冥福をお祈り申しあげま
す。

編集 後記

- ・新広報部の処女作となりま
した。発行した後途端に、
どのような批判が出るか、
心配になりました。
 - ・ヘッドラインが表と裏にあ
りましたので、表だけにし
て、サイズは変えませんでした。
(A4のまま)
 - ・発行部数は2000部と
し、各クラブに1部プラス
登録代表者数分をクラブ宛
送付し、残りは事務局に置
いて希望者に配布すること
にしました。
 - ・本誌の記事は、ホームペー
ジにも掲載し、全ての会員
にご覧頂くことにしまし
た。
 - ・ご意見を頂戴致し、改善し
ていきたいと思えます。よ
ろしくお願い致します。
- 広報部長 井口 輝男
編集班長 大内 邦彦
編集員 久保岡佳正
森中カツミ